

平成27年度 学校評価実施報告書

学校名(高雄小学校)

1 平成27年度 重点評価項目

1. 確かな学力の育成(子どもが達成感や充実感を味わう授業の改善 学習習慣の確立) 2. 豊かな心の育成(進んで道徳的実践をしようとする道徳教育の充実) 3. 健やかな体の育成(基本的生活習慣の確立, 安全指導の充実)

2 1回目評価

重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定					自己評価		学校関係者評価	
各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					評価日	平成27年8月27日	評価日	
					評価者・組織	企画委員会・職員会議		学校運営協議会 学校評議員
分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	分析 (成果と課題)	自己評価に 対する改善策	学校関係者評価に よる意見	学校運営協議会・学校評議員による改善 に向けた支援策
1	確かな学力	子どもが達成感や充実感を味わうよくなる授業	京都市スタンダードをもとにした学習計画の充実 であて・発問・板書の充実 ノート指導の充実	児童アンケート「学校の授業はよくわかっている」全国学力学習状況調査結果	⇒	子ども達が達成感と充実感を味わい、向上心を持つことに重点を置いて、授業改善に取り組んできたところ。アンケート結果にも学力学習状況調査も、良い結果が得られた。今後も、すべての教科領域で言語活動を充実させるなど具体的な授業改善をすることと、互いの授業を公開し、あつてよいことを取り入れていくなど教職員も向上心を持って取り組めるようにしていく必要がある。また、帯タイムや読書タイムの取組や家庭学習への働きかけを充実させることで、学習習慣を定着させたり基礎基本の習得を測ったりすることも求められる。	学力向上の取組を進めている中で、子どもが見通しを持って学習を進めていくことの大切さを学んだ。単元全体や一時間の流れを見通した教材研究をさらに進めていくことで、次の学習のために学習する子を育てていくことが求められる。また、保護者アンケートに見られるように、「読書の大切さは分かってはいるが家で取り組むことができない」という声を大切に、読書指導を充実させるとともに、家庭教育講座などを通して、保護者の家庭での働きかけの仕方についても支援していくことが求められる。また、帯タイムや読書タイムの取組を充実させることで、学習習慣を定着させたり基礎基本の習得を測ったりすることも求められる。	子ども達は、自分のわからないところをきちんと教えてもらえるという安心感を感じている。低学年でできないという回答があるのは、わからないところがわからないということではないかと思える。教師の努力がきちんと伝わっている。高学年で予習をしてほしいと願う。
		子どもが達成感や充実感を味わう言語活動の充実 自学自習の習慣の確立	国語科での単元を貫く言語活動の充実 グループ活動や少人数での話し合い活動の充実 すべての教科・領域での言語活動や表現活動の充実 学習予定表の充実 帯タイム・読書タイムの充実 家庭訪問などによる個別の働きかけ 学習計画の共有 読書指導の充実	児童アンケート「自分の考えをはっきり話している」教職員アンケート「言語活動の充実」 児童・保護者アンケート「家庭学習の様子」教職員アンケート「学習の見通し」「家庭学習への働きかけ」		児童アンケート授業がわかる97% 先生はわからないところをよく教えてくれる100% 全国学力学習状況調査 国語AB算数理科で京都平均・全国平均を4・10ポイント上回る 児童アンケート考えをはっきり話す11・17%あまりできていない 教職員アンケート言語活動の充実した授業づくり 89%できている 児童アンケート自分に必要な学習に取り組んでいる60・90%できている 教職員見通しの持てる教材研究90%できている 保護者読書77%できている	子ども達が達成感と充実感を味わい、向上心を持つことに重点を置いて、授業改善に取り組んできたところ。アンケート結果にも学力学習状況調査も、良い結果が得られた。今後も、すべての教科領域で言語活動を充実させるなど具体的な授業改善をすることと、互いの授業を公開し、あつてよいことを取り入れていくなど教職員も向上心を持って取り組めるようにしていく必要がある。また、帯タイムや読書タイムの取組や家庭学習への働きかけを充実させることで、学習習慣を定着させたり基礎基本の習得を測ったりすることも求められる。	子ども達は、自分のわからないところをきちんと教えてもらえるという安心感を感じている。低学年でできないという回答があるのは、わからないところがわからないということではないかと思える。教師の努力がきちんと伝わっている。高学年で予習をしてほしいと願う。
2	豊かな心	道徳的実践に生かす道徳の時間の充実・道徳教	子どもの道徳性を引き出し広げ深める道徳の時間の授業の充実 授業公開をともなう授業研究の充実 道徳性の伸長の足跡を残す取組(掲示物・ハートフル集会)	児童・保護者・教職員アンケート「あいさつ」「ごみの後始末」「整理整頓」「時間を守る」 日常の行動観察	⇒	90%を超える子ども達が「学校が楽しい」と回答しているのは、日頃からの子ども同士の関わりや子どもと教職員との関係づくりがうまく進んでいることのおかげであるととらえられる。しかし、少数とはいえ「楽しい」といかに子ども達に目を向ける必要がある。集団に対して子どもでも個々にに対してもしっかりと働きかける必要がある。また、子ども達の道徳的実践を促すのは、教師が範を示すことにほかならず、教職員の行動を見て子ども達は育っていくことを意識して日頃の取組を進めなければならない。	今年度より、道徳を研究教科に取り上げて、道徳の時間の授業研究はもとより子ども達の道徳性を育う様々な取組についても見直しを進めている。そのなかで、最も大切にしていることは子ども達の道徳性を引き出し、広げ深めることであり、友達の良いところを見つけて自分の中に取り入れていくことである。教職員が進んで子どものよさを見つけて出し、それを広げ深めていく取組が望まれる。その基本理念をもつて道徳の時間の授業研究に取り組むのみならず、学級経営のすべての場面で子どものよさを見つけていくように心掛け、協働活動や校内掲示なども充実していきたい。	子どもそれぞれの個性があり「明るく挨拶」というのは難しい目標だ。重要度と実現度の差が一番大きい項目だ。親が子どもの良い見本になっているか問われているように思う。親のほうも豊かな心の実践があまりできていないように思う。
		みんなが楽しく過ごせる学級づくり 子どもに範を示す教職員・家庭との連携	二人一人を大切にした学級経営の充実 報告・連絡・相談の励行 クラスマネージメントシートやいじめアンケートを基にした学級経営の見直しと推進 子ども達の範を示す教職員像 一人一人の背景まで見つめる教職員像 こまめな家庭訪問などを通した家庭との連携	児童アンケート「学校が楽しい」「誰とでも仲良く過ごす」「友達への注意」「クラスマネージメントシート」いじめアンケートの結果 教職員アンケート 時間を守る 子どもと一緒に清掃活動に取り組む 相手の気持ちを考えた言葉遣いをしている 家庭への働きかけ		あいさつ「できる」児童87.7%教職員70%保護者69.2% ごみが落ちているとき「進んで拾う」児童78%掃除あと片付け「およそできる」教職員 「学校が楽しい」低学年92.4%高学年94.2%誰とでも仲良く低学年94.2%高学年92.6%友達に注意する低学年90.3%高学年86.8% 教職員アンケート 時間を守る 88.9%子どもと一緒に清掃活動に取り組む88.9% 相手の気持ちを考えた言葉遣いをしている100%	90%を超える子ども達が「学校が楽しい」と回答しているのは、日頃からの子ども同士の関わりや子どもと教職員との関係づくりがうまく進んでいることのおかげであるととらえられる。しかし、少数とはいえ「楽しい」といかに子ども達に目を向ける必要がある。また、子ども達の道徳的実践を促すのは、教師が範を示すことにほかならず、教職員の行動を見て子ども達は育っていくことを意識して日頃の取組を進めなければならない。	今年度より、道徳を研究教科に取り上げて、道徳の時間の授業研究はもとより子ども達の道徳性を育う様々な取組についても見直しを進めている。そのなかで、最も大切にしていることは子ども達の道徳性を引き出し、広げ深めることであり、友達の良いところを見つけて自分の中に取り入れていくことである。教職員が進んで子どものよさを見つけて出し、それを広げ深めていく取組が望まれる。その基本理念をもつて道徳の時間の授業研究に取り組むのみならず、学級経営のすべての場面で子どものよさを見つけていくように心掛け、協働活動や校内掲示なども充実していきたい。
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立	早寝・早起き・朝ごはんの励行 保健だよりの発行を中心とした家庭への働きかけ 長期休業明けの生活リズム調べ	児童・教職員アンケート「早寝・早起き・朝ごはんの励行」生活リズム調べ「早寝・早起き・朝ごはん」	⇒	子ども達は交通量の多い国道を通って通学していることもあり、子ども達の安全に対する意識は高い。放課後の時間の確保に向けて具体的に自分で自分を守るように指導を深める必要がある。また、下校時の見守りについても保護者・地域に呼びかけることが必要である。健康な暮らしについては従来の指導を継続することが求められる。	集団下校を取りやめ、放課後の時間を確保することを契機に、必ず複数で下校するなど、自分で自分を守ることができるよう指導をしていきたい。また、横断歩道や下校路を見守るボランティアを保護者・地域に呼びかけるなどして、安全な環境づくりにも努めていきたい。早寝・早起き・朝ごはんは定着し始めているが、それが習慣化するよう継続した指導を進めたい。	朝ごはんを食べている率の高さに驚いた。朝ごはんを食べると元気がいい、良い睡眠がとれるので素晴らしい。親として子どももしっかり向き合っているか問われているように思う。
		安全指導の充実	国道を通る通学についての指導の充実 集団登校の指導と町別集会 教職員による見守り 交通安全ボランティアと下校ボランティア	児童アンケート「家の外での安全」教職員アンケート「安全についての環境整備」「安全な生活の指導」集団登校・下校の様子		児童アンケート朝ごはん「できていない」98.2%早寝・早起き「できていない」66.6%教職員アンケート健康な生活の指導「できていない」100% 児童アンケート家の外で過ごすとき安全に気をつけている「できていない」88.6%教職員アンケート安全の指導「できていない」100%	子ども達は交通量の多い国道を通って通学していることもあり、子ども達の安全に対する意識は高い。放課後の時間の確保に向けて具体的に自分で自分を守るように指導を深める必要がある。また、下校時の見守りについても保護者・地域に呼びかけることが必要である。健康な暮らしについては従来の指導を継続することが求められる。	集団下校を取りやめ、放課後の時間を確保することを契機に、必ず複数で下校するなど、自分で自分を守ることができるよう指導をしていきたい。また、横断歩道や下校路を見守るボランティアを保護者・地域に呼びかけるなどして、安全な環境づくりにも努めていきたい。早寝・早起き・朝ごはんは定着し始めているが、それが習慣化するよう継続した指導を進めたい。
4	独自の取組	下校方法の変更による放課後の時間の確保	集団下校の廃止 放課後の個別指導・仲間作りでの充実 安全指導の充実 複数の下校の意識づけ	保護者アンケート目田記述欄 PTA運営委員会での意見 保護者からの意見	⇒	高学年から順着に少しずつ集団下校を廃止したことで、無理な放課後の時間を確保することができた。しかしながら、子どもを取り巻く交通事故は危険であることに変わりなく、学校での安全指導はもとより、地域・保護者と連携して子どもの安全を確保する取り組みがさらに求められる。また、情報が速やかに伝達できるようにする働きかけが必要になる。さらに、中学校と子ども達の様子や授業の様子についてもさらに深まってきた連携ができるようにしていく必要がある。	PTA運営委員会や学校運営協議会を通して、子ども達の安全についての情報を集め、その改善策と一緒に考えていくようにする。また、PTAメールやホームページを通しての情報発信についても、保護者の協力を求めるようにする。さらに中学校との連携を深めるために、小中合同のPTA組織や学校運営協議会の特色を生かした取組を進めたり、小中での若年研を通じた授業研究を進めたりしていく。	親の悩みは昔から変わらない。親が子どもの前で本を読んだりしているか気になった。低学年の親は特にPTAメールを利用すべきだと思う。
		情報の発信	学校ホームページやPTAメールによる情報発信 学校だよりや学級だよりなどによる情報発信	保護者アンケート目田記述欄 保護者アンケート「学校からの情報でよくわかる」		ある事案が起るが原因がわからず悩んでいることについての意見はあったが、ホームページ90%メールを使っての情報発信は肯定的にらる意見が多。保護者アンケートわかる。よくわかる85%	高学年から順着に少しずつ集団下校を廃止したことで、無理な放課後の時間を確保することができた。しかしながら、子どもを取り巻く交通事故は危険であることに変わりなく、学校での安全指導はもとより、地域・保護者と連携して子どもの安全を確保する取り組みがさらに求められる。また、情報が速やかに伝達できるようにする働きかけが必要になる。さらに、中学校と子ども達の様子や授業の様子についてもさらに深まってきた連携ができるようにしていく必要がある。	PTA運営委員会や学校運営協議会を通して、子ども達の安全についての情報を集め、その改善策と一緒に考えていくようにする。また、PTAメールやホームページを通しての情報発信についても、保護者の協力を求めるようにする。さらに中学校との連携を深めるために、小中合同のPTA組織や学校運営協議会の特色を生かした取組を進めたり、小中での若年研を通じた授業研究を進めたりしていく。
		小中連携	管理職・教務主任を中心とした定例の連携会 小中連携に基づく若年研の充実・各分掌同士の連携 小中で共通の学校運営協議会・PTA組織	保護者アンケート自由記述欄 PTA運営委員会での意見 保護者アンケート中学校との連携				週に1度は、PC携帯なしの日の約束もいっているように思う。PTAメールの登録については、入学説明会の段階で内容を説明しておけば、スムーズに登録してもらえるだろう。低学年では特にPTAメールを利用している。

週に1度は、PC携帯なしの日の約束もいいのではないのでしょうか。PTAメールの登録については、入学説明会の段階で内容を説明しておけば、スムーズに登録してもらえるだろう。低学年では特にPTAメールを利用してほしい。